

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」育成の継続的な取組を目指して ～

## ＜本年度の学力向上基本方針＞

○すべての児童が主体的に学習に取り組み、共に学び合う児童の育成

## ＜本年度の学力向上策＞

## 1 授業規律の徹底と学習環境の整備

- (1) チャイム始業、チャイム終業や学習時の基本的なルールを徹底する。
- (2) 理解を深めるような教材・教具、学習の軌跡が分かる掲示物を工夫する。
- (3) 生活カードを活用し、生活習慣と学習の関連を図り、家庭との連携を強化しながら児童の学習環境を整備していく。

【規則正しい生活が送れると回答する児童85%以上】

【善前っ子の約束を守れると回答する児童90%以上】

## 2 「わかる」を実感できる授業づくり

- (1) 「課題把握→自力解決→伝え合い→まとめ→適用問題」という基本的な学習過程を全学年で実施する。
- (2) さいたま市「よい授業の4つの因子」を重視した授業を展開する。
- (3) ユニバーサルデザインの視点を取り入れたきめ細やかな指導を行う。

【授業に一生懸命取り組んだと回答する児童90%以上】

【勉強はわかりやすいと回答する児童90%以上】

## 3 基礎学力定着を図るための取組の充実

- (1) 少人数指導（TT含む）を通じ、個に応じた指導を推進する。
- (2) 「学校課題研修（算数）」を柱としたチャレンジタイム等の取組を充実させる。

## 4 研究体制の充実

- (1) アンケートや調査等に基づく、個々の分析を行う。
- (2) 一人ひとりの学習過程に着目した研究を行う。

【難しいことでもすぐにあきらめずがんばると回答する児童90%以上】

## 5 全国学力・学習状況調査結果・さいたま市学習状況調査結果の分析と活用

- (1) 各学習状況調査の調査結果を分析し、成果と課題の明確化を図る。
- (2) 各調査結果の分析や、学力向上カウンセリング学校訪問を活用して、児童の実態に合わせた学力向上策の見直しを図っていく。

## ＜本年度の振り返り＞

- 1 ○学校評価アンケートにおいて、「規則正しい生活が送れる」と回答する児童の割合が89%（前年度+2.7ポイント）、「善前っ子の約束を守れる」と回答する児童の割合が92.5%（前年比+2.0ポイント）であったことから、授業規律の徹底がなされた。あわせて、算数を中心に教材、掲示物の充実を図った。  
▲今後、生活カードの活用や家庭学習の在り方について検討を重ね、更なる学習環境の整備を進める。
- 2・4○「授業に一生懸命取り組んだ」「勉強はわかりやすい」と回答する児童の割合は、ともに92%であったことから、児童にとって魅力ある学習過程が展開され、研究の成果が表れていると考えられる。
- 3 ○中学年以上では、算数科の少人数指導体制を実施し、個に応じた指導を継続して展開することができた。